朝日新聞
ならしの朝日
NARASHINO ASAHI
【毎月5日発行＝朝日新聞のASAからお届けします】
第950号
2022年（令和4年）8月5日

ならしの朝日新聞社
発行人　秋本　満
〒275-0026 習志野市谷津4-3-17
電話　047(454)2355
FAX　047(454)2357
編集・広告　習志野朝日株式会社
売価200円（税込）

四中が接戦制し優勝
中学総体 野球

令和4年度習志野市中学校総合体育大会・野球の部が7月17日から22日まで、第一カッター球場で開かれた。

決勝戦は春季大会と同じく二中と四中との対戦となった。先制したのは二中。2回裏、四球の5番石井が6番玉置の左越二塁打でかえり1点。二中は3回裏、2番三井が三遊間を抜ける安打で出塁。石井が中前安打、玉置は敬遠で満塁の場面に、7番安田の中前安打で3点リードする。

四中は4回表、内野安打の3番山口が盗塁し、4番坂田の遊ゴロの間に三塁へ。5番中田は右翼線への右前安打で1点を返す。しかし、その回裏、二中は1番青木が右前安打、三井が中前安打で走者一、二塁に、4番間嶋の適時打で再び3点差とする。

四中の好機は5回表。先頭の代打・淵上が左越二塁打。一死後、1番高橋大の左前安打で淵上がかえる。2番松尾の内野ゴロで三塁に進んだ高橋大が、投球がそれる間に本盗で2点目を挙げ、1点差と迫る。

追加点を得たい二中だが、逆に6回表、四中は中田、6番下山田の連続安打、7番鈴木の四球と攻勢をかけ、二中は無死満塁のピンチを迎える。だが、ここは二中投手・花澤ががんばり、9番山舘の長打級の当たりを左翼手・早川が好捕し、無得点に抑える。

1点を追う四中の最終回。先頭の高橋大が右翼線二塁打。松尾も右前安打で無死走者一、三塁とし、一死後、坂田のバントスクイズが決まり、4―4の同点とする。その回裏の二中は三者凡退。7回終了時点で、ともに安打8、エラー1と互角。試合は特別延長戦に入る。

延長の8回表、四中は代打・杉本の右前安打、松尾の右越二塁打で3点。二中は花澤の外飛がエラーを呼び1点返すが反撃はここまで。接戦を制した四中に凱歌が上がった。四中の優勝は6大会・7年ぶり。

四中の山舘賢キャプテンは「初戦、決勝戦は先制されましたが、そこからチームの雰囲気が変わり、持ち味の積極的なプレーが出て、逆転できたと思います。県大会でも一戦、一戦勝ち進んでいきたいです」と話した。県大会は7月27日から開催。

大会結果は次の通り。

▽1回戦
二中　7―2　五中
六中　4―1　一中
東邦中　3―1　三中
四中　6―2　七中

▽準決勝戦
二中　5―2　六中
四中　6―0　東邦中

▽決勝戦
四中　7―5　二中
①四中②二中③六中③東邦中

【最優秀選手賞】
山口亮人（四中）

【優秀選手賞】
▽**二中**＝青木太桜・三井悠大・早川和輝・間嶋修平▽**四中**＝山舘賢・高橋大斗・坂田勇祐▽**六中**＝渡邊太陽・中森智志▽**東邦中**＝神沢佑星・松本航馬

【敢闘賞】
▽**一中**＝神谷悠太朗▽**二中**＝花澤壱咲▽**三中**＝大屋敷陽▽**四中**＝下山田匠実▽**五中**＝須田紘太郎▽**六中**＝大向健心▽**七中**＝山田迅大▽**東邦中**＝柳慶吾

優勝の四中

中学総体 サッカー 六中が優勝飾る

優勝の六中

令和4年度習志野市中学校総合体育大会・サッカーの部が7月16日から21日まで、第一カッターフィールドで開かれた。

六中と東邦中との決勝戦。六中は立ち上がりから守備に徹し、東邦中はサイドを起点に好機を作ろうとするが、六中の高いディフェンスラインに慣れることができず、オフサイドを取られながらも攻撃を仕掛ける展開が続く。前半中盤、六中はセンターラインあたりでファウルをもらい、フリーキックからゴール前に長いロングパスが入り、抜け出した中村がヘディング。東邦中のキーパーが飛び出したところにうまく合わせ先制ゴールを決める。東邦中の攻撃が目立ったが、ワンチャンスをものにした六中ペースで試合を展開していった。

後半中盤、六中は左サイドでファウルをもらう。ゴールに直接向かうクロスを上げると、東邦中のキーパーがパンチング。そのこぼれ球に反応した中村がゴール前でシュートを放ち、見事に2点目を決める。

東邦中は守備を押し上げて前線から仕掛け、身長の高い選手を起用するが、決定機を生み出せない。後半は互いに攻めるシーンが増えたが、スコアは変わらず、六中が勝利した。

六中の柳澤海斗キャプテンは「総体優勝という目標を掲げ、日々の練習から取組んできました。1回戦、2回戦と順調に勝ち進み、13年ぶりの決勝進出を果たし、決勝戦では、あきらめない心、強気なプレーを一人ひとりが意識し、25年ぶりに優勝することができました。習志野市の代表として全力で県大会に臨みます」と話した。県大会は7月27日から開催。

大会結果は次の通り。

▽1回戦
四中　1―0　一中
六中　1―1　三中
（PK　4―2）
七中　2―1　二中
東邦中　4―2　五中
六中　2―0　四中
東邦中　4―0　七中

▽3位決定戦
四中　2―2　七中
（PK　4―3）

▽決勝戦
六中　2―0　東邦中
①六中②東邦中③四中

【最優秀選手】
柳澤海斗（六中）

【優秀選手】
▽**一中**＝久保虎之介▽**二中**＝川上泰誠▽**三中**＝小畑匡徳▽**四中**＝大河原樹・狩野瑠郁・佐藤正祐▽**五中**＝鈴木哲平▽**六中**＝蓑田結都・渡邉遼太・相川烈・村杉悠・印東芯太郎・中村拳太▽**七中**＝荒川司・太田創士▽**東邦中**＝長谷川和輝・水野陽斗・猪俣悠人・内田哲太

168校・153チームが熱い戦い
高校野球千葉大会

第104回全国高等学校野球選手権千葉大会が7月9日に開幕し、参加168校・153チームが甲子園出場を目指し、熱い戦いを繰り広げた。

7月10日、第一カッター球場の第1試合、東邦高校と佐倉西高校の対戦前には、習志野市少年野球連盟所属チームから選ばれた、実花レジェンドの中村緋里投手と向山ファイターズの小林一希捕手の小学生バッテリーによる始球式が行われた。低めの速球がストライクゾーンに決まり、観客席からは大きな拍手が贈られた。

習志野勢では、習志野高校が準々決勝戦に進出し、ベスト8となった。

始球式でバッテリーを務めた実花レジェンドの中村選手と向山ファイターズの小林選手

中学校総合体育大会の主な結果

令和4年度習志野市中学校総合体育大会が5月21日から7月24日まで開かれた（駅伝を除く）。

各会場では熱い戦いが繰り広げられた。団体競技・団体戦の主な結果（学校対抗は除く）は次の通り。

▽野球＝①四中②二中③六中③東邦中
▽サッカー＝①六中②東邦中③四中
▽バスケットボール男子＝①六中②二中③一中③四中
▽バスケットボール女子＝①一中②四中③二中③五中
▽バレーボール男子＝①二中②七中③三中
▽バレーボール女子＝①四中②一中③二中③五中
▽ソフトボール＝①二中②七中③三中③五中
▽ソフトテニス男子＝①一中A②一中B③五中A③七中A
▽ソフトテニス女子＝五中A②四中A③六中A③七中A
▽卓球男子＝①五中②二中③東邦中
▽卓球女子＝①東邦中②二中③五中
▽柔道男子＝①四中②五中
▽柔道女子＝①四中
▽剣道男子＝①東邦中②四中③二中
▽剣道女子＝①四中②一中③二中

本号未掲載の大会詳細は、次号掲載予定。